

# 求められる男はここが違う！ 「男の余裕」のつくり方

2023年12月19日発行

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)は潮風洋介 著『男の余裕』のつくり方』を2023年12月19日(火)に刊行いたします。

## 女性の心を“あっという間に”開かせる男が持っているもの

なぜ、あのオヤジは微笑み佇むだけで女性が腕を絡ませたくなるのか？

その答えは「男の余裕」にあった！

ただ、お金、時間があって、物腰がゆったりしていて、聞き上手——だけでは足りない。

本書では、著書累計173万部のベストセラー作家が、「選ばれる男(オス)」になるために絶対に知っておきたいことを伝授。好評シリーズの最新刊です。

## 男を磨く！潮風洋介氏の書籍シリーズ(既刊)



「男の色気」  
のつくり方

2015年  
6月21日刊行

1,430円  
(税込)



「男の自信」  
のつくり方

2016年  
10月3日刊行

1,430円  
(税込)

## タイトル:「男の余裕」のつくり方

著者:潮風洋介 ページ数:260ページ

価格:1,430円(10%税込) 発行日:2023年12月19日

ISBN:978-4-86667-652-4

### 【目次】

プロローグ なぜ、あのオヤジは微笑みたらずむだけで女性が腕を絡ませたくなるのか？

1章 「余裕のある男」の共通点とは？

2章 女性にとって付き合いやすい男とは？

3章 求められる男はここが違う！

4章 関係はじっくり深める

5章 女性との適度な距離感とは？

6章 切り捨てることを知る

エピローグ 「大人の余裕男」は105度で接する

### 【著者プロフィール】



潮風洋介(しおなぎ・ようすけ)

著者・作家

著書74冊・累計173万部。「サードプレイス啓蒙」「恋愛文化の発展」をテーマに出版。

著書『もう「いい人」になるのはやめなさい!』(KADOKAWA)は、シリーズ累計21万部突破のベストセラーに。

「心の壁を壊し、生きることを楽しもう」をステートメントに掲げ活動している。



オス

男としての周波(バイブス)が違う！女性を腰砕けにする「**余裕**」とは？

Kさんは40歳年下の美女の会話に、柔らかい形状記憶ソファのように“フィット”する。お気に入りのスキニーデニムのように女性の肌の一部になる。女性たちのはしゃぎぶりも、話のかみあいぶりも毎回安定。(中略)



心の底からその場を楽しんでいる。上でも下でもない、一匹のホモ・サピエンスとしてその場を昇華できている。ファッションにぬかりがない。自分を楽しみ、相手との時間を楽しむ。すべてを愛することができている。—女性を腰砕けにする余裕は少なくとも、これらのキーワードの向こう側にあるような気がする。



「手をつないでから友情を深める」「微量の好意をトークにまぶす」  
女性との**適度な距離感**の取り方とは？

男の「**余裕**」を持つために——男の魅力は、“まとう**余韻**”で決まる

小さな  
艶時間を  
積み重ねる

なぜ**余韻**をまとうことが大切なのか？

楽しい遊びの記憶や、余韻をまといながら異性と会う。これだけで相手に与える印象はまったく違ってくる。

見つめ合った女性の残像が瞳に残っている状態で、次の異性に会う。(中略)

情愛に満ちたコミュニケーションのきめ細かな軌跡が刻まれた、恋愛常習犯の表情。

目の前に素敵な女性がいることに慣れた、目と口の動き、表情。体の角度。見つめる視線。最も女性から見て魅力的で、心地よい構えが自然体で染み付いている。

男の「**余裕**」を持つために——多数の女性と**艶やかに**、**細く長くつづく関係**を楽しむ

友情7割  
恋愛3割

余裕男は、「**サステナブルな恋**」をする

手つなぎ完了後、そこからあえて男女の友情を深めるのだ。つまり、すぐにフィジカルのステップを上がろうとしない。

過去の恋愛の話、仕事の話、子どもの頃の話、将来の夢など、内面をもっともっと深く知ろうとする。そして、スキンシップゼロのまま解散する。(中略)

恋と言えるほどのものではないのかもしれない。友情色7割、恋愛色3割の恋色の友情。あわいパープルピンク……の関係を楽しむのである。

男の「**余裕**」を持つために——最強の「**かさぶた**」を持つ

過去の古傷  
を笑って話す

過去の**ダメダメ**をさらっと笑顔で話し、**親近感**、あるいは**優越感**を抱かせる

余裕男は、とにかくオープンだ。自分をよく見せようと、強がったり、失敗を隠そうとしたりしない。しかも、過去の停滞・失敗、そして古傷を笑顔で見せ、語る。(中略)

これぞ男の余裕だ。人生の真剣勝負の現場で鍛えられた、鋼の心と頭と体。女性はそれを、本能で察知する。

しかし、真逆の「余裕のないオジ」はどうか？聞いてもないのに自分の育ちの良さや学歴を会話にまぶし、失敗談など絶対しない。自分をスマートにクレバーに見せようとする。

(中略)余裕のある男は、最強のかさぶたを持っている。分厚くて、ちょっとやそつとでは剥がれない、最強のかさぶたを持っているのだ。